

トヨタ車体がプレーオフ進出決める

～第34回 日本ハンドボールリーグ・第17週～

第34回日本ハンドボールリーグ第17週は1月30、31日に富山などで男女各3試合が行われ、男子はトヨタ車体が大同特殊鋼に次いで2枚目のプレーオフ切符を獲得、トヨタ紡織九州、湧永製薬の上位2チームも順当勝ちした。女子は同勝点で首位を争うオムロンとソニーセミコンダクタ九州が対戦、オムロンが前半のリードを守りきり、北國銀行とともに9勝目をマークした。

男子の車体-北陸電力戦は両チームともロングシュートを中心に加点、互角の滑り出しから前半途中には車体が8-5とリードしたが、北電もチームタイムアウトを取ったあとに持ち直し、3回の退場を受けながらも11-11の同点で前半を折り返した。後半に入ると車体は5:1ディフェンスに切り替え、北電のロングシュートに対抗、守りからリズムを作って13分20-15と混戦を抜け出した。23分過ぎには9点差をつけられた北電は、終盤に入って杉山らで4連取したが及ばず、30-23で勝利した車体がプレーオフ進出を決めた。

4年ぶりのプレーオフ進出を狙う紡織は琉球コラソンと対戦。この試合、スタートから1点を争う激しい主導権争いが展開され、前半20分過ぎから琉球の連続ミスで速攻につなげた紡織が2点リードを奪ったが、琉球もGK内田と高田の活躍で再度逆転し、12-11と琉球1点リードで前半を終えた。後半も両チームGKのファインセーブの応酬もあって一進一退の攻防が続いた。しかし、地力に勝る紡織は村上(秀)の活躍で13分19-16と3点リード。たまたま琉球はタイムアウトを取って懸命に挽回を図ったものの、そのまま優位をキープした紡織が29-24で今シーズン最終戦を飾った。この試合で紡織・呉が通算600得点、村上(秀)が同500得点を達成した。

女子のソニー-オムロン戦は、前半中盤で流れをつかんだオムロンがGKの好セーブや藤井の得点で20分9-5とリード。その後もオムロンは藤井のミドルや城内の速攻、東濱の連打などで加点。ソニーは焦りからかパスミス、シュートミスが目立ち、オムロンが15-6と大量リードで前半を終えた。後半に入ると攻撃的なディフェンスから速攻を連発したソニーが反撃、5分には11-16と追いついた。その後、5点差のまま試合が進んだが、20分過ぎから再びソニーの速攻が決まりだし、23分には3点差まで肉薄。しかし、ここでタイムアウトを取ったオムロンは東濱がロングシュートで連取、高栖のポストシュートなどで必死に粘るソニーを振り切って勝利をつかんだ。この試合でソニー・郭が通算800得点、高栖が300得点、オムロン・藤井が200得点を達成した。

北國-広島メイプルレッズ戦は、若松の速攻、仲宗根のミドルで幸先のいいスタートを切った北國が、その後も上町、横嶋らで加点。広島は植垣のロング、五月女の子ミドルなどで応戦したものの、パワープレーチャンス時に7mスローを外すなど、ここ一本の大事な場面で北國の堅い守りに阻まれ、なかなか点差が縮まらない展開が続いた。14-9と北國5点リードで迎えた後半、広島が通算200得点を達成した土屋のポストシュートや植垣の7mスローなどで追撃したのに対し、15分過ぎから4:2ディフェンスにシフトチェンジした北國が再びペースを上げ、8得点をマークしたエース上町の活躍などで逃げ切りに成功した。



④シーズン最終戦を飾ったトヨタ紡織九州・呉
⑤オムロンとともに9勝目をマークした北國銀行・仲宗根

第18週の日程

2月6日(土)	広島	東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)	14:00~	(女)	広島メイプルレッズ × 三重バイオレットアイリス
	熊本	山鹿市総合体育館(九州産交バス「山鹿バスセンター」下車、車で10分)	14:00~	(女)	オムロン × H C 名古屋
2月7日(日)	奈良	生駒市市民体育館(近鉄奈良線生駒駅徒歩15分)	14:00~	(女)	北國銀行 × ソニーセミコンダクタ九州

湧永がまた一步、プレーオフに前進

1月31日、鹿児島での男子・湧永製薬-豊田合成戦は、湧永がアジア選手権（2月6日～、レバノン）の代表にノミネートされたGK松村と東長濱の主軸2人を欠く布陣で臨んだものの、試合開始早々から大崎電気、トヨタ紡織九州との激闘を連勝した勢いを披露。GK・志水の好セーブを速攻につなげて得点を量産した湧永が、17-6と大きくリードして前半を折り返した。後半に入って合成も中村、中島らで得点ペースを上げ、GK・藤堂の7mスロー阻止などで気を吐いたが、湧永の優位は不動。31-20と11点差をつけて合成を退け、8勝目をマークした湧永がまた一步、プレーオフへと前進した。

同日、三重での女子・三重バイオレットアイリス-HC名古屋の対戦は、三重が開始3分、伊藤の7mスローでの得点を皮切りに、15分までに9連取。早くも勝負が決まりかけたが、名古屋も高橋（玲）や秋山らの活躍で追撃。なんとか後半に望みをつないだ。後半、射程圏内に追いついて、三重を揺さぶりたかった名古屋に対し、三重はGK・毛利のフェインセーブから橋本、横川、星野らの速攻につなげ、リードを広げる展開に。最後までディフェンスが安定し、よく走った三重がホームゲーム最終戦を白星で飾り、4勝目をマーク。なお、三重はエース伊藤がリーグ通算200得点を達成した。

この第17週をもって男子はアジア選手権のブレイク期間に入るため、次の第18週は女子のみ3試合。プレーオフの前哨戦として、2月7日、奈良での北國銀行-ソニーセミコンダクタ九州戦が注目の戦いとなる。

◆ 1月30日(土) 女子
石川・金沢市総合体育館

北國銀行	26	(14-9)	23	広島メイプル レッズ	3勝0分8敗
9勝0分2敗		(12-14)			
<1/2>	K 寺田		堂面	K <0/1>	
	0/0 鯨場		土屋	6/7	
4/4	4/5 上町		村山	0/1	
	3/4 宮前		河田	0/0	
	0/4 佐久川		大前	1/1	
	0/0 川井		植垣	8/20 1/1	
	3/5 中村		菅野	3/5	
	4/5 横嶋		伊藤	0/1	
	2/3 野路良		五月女	2/3 0/1	
	K 田代		横田	K <0/3>	
	3/7 仲宗根		安齋	0/0	
	0/0 井上		石山	0/0	
	0/0 八十島		高山	0/0	
	3/6 若松		新城	2/3	

4/4 22/39 7(FPP)7 22/41 1/2
審判(多田・中館) 観客 745人

◆ 1月30日(土) 男子
佐賀・トヨタ紡織九州クレインアリーナ

トヨタ紡織九州	29	(11-12)	24	琉球 コラソン	2勝1分10敗
8勝2分4敗		(18-12)			
<2/3>	K 松野		久高	2/4	
	3/5 中島		村山	7/14 1/2	
	0/1 西端		水野矢	0/0	
	1/2 村上直		玉城	0/0	
	8/11 村上秀		池田	0/1	
	3/10 呉相真		志慶真	4/5	
	3/10 佐久間		内田	K <1/2>	
	0/1 鶴田		内山	2/4	
	6/8 海道		高田	4/11 0/1	
	3/9 阪		石田	K <0/1>	
	K 谷川		水野紀	4/9	
2/3	0/0 鈴木				
	0/0 藤山				
	0/0 石黒				

2/3 27/57 6(FPP)5 23/48 1/3
審判(奥山・海江田) 観客 310人

◆ 1月31日(日) 男子
富山・高岡市竹平記念体育館

トヨタ車体	30	(11-11)	23	北陸電力	0勝1分13敗
9勝1分3敗		(19-12)			
	K 木下		高橋	2/4	
	0/0 田中		神田	1/4	
	1/3 石戸		落合	1/3	
	2/5 高智		桜井	6/11 1/2	
	3/4 野村		前田	4/5	
	3/4 藤田		高山	1/2	
	0/0 高木		杉山	3/7 2/2	
	2/3 北出		大谷	0/0	
<1/4>	K 田平		表	0/0	
	2/3 小沢		山原	2/10	
	5/6 鶴谷		丸山	K <0/2>	
	2/5 香川		石塚	0/1	
	4/5 崎前		櫛田	0/0	
2/2	4/10 銘苺		有江	K	

2/2 28/48 8(FPP)15 20/47 3/4
審判(多田・中館) 観客 1010人

◆ 1月31日(日) 女子
三重・鈴鹿市立体育館

三重バイオレットアイリス	27	(13-6)	13	HC名古屋	0勝0分11敗
4勝0分7敗		(14-7)			
	K 浅井		近藤	K <0/1>	
	4/6 横川		池田	0/4	
	5/6 桂		高橋瑛	1/6	
	0/0 石黒		鈴木	2/12 1/1	
	1/4 宮下		菅谷	0/11	
	1/2 谷口		阪本	0/0	
	1/2 北村		外本	1/4	
	3/5 橋本		上野	0/0	
	0/0 野中		高橋玲	4/6	
<0/1>	K 毛利		家城	K <0/1>	
	5/9 星野		秋山美	4/6	
	1/1 小川		長谷川	0/0	
2/2	3/8 伊藤		脇田	0/3	
	1/1 島崎				

2/2 25/44 6(FPP)3 12/52 1/1
審判(杉山・各務) 観客 2250人

◆ 1月31日(日) 男子
鹿児島・霧島市国分体育館

湧永製薬	31	(17-6)	20	豊田合成	2勝2分9敗
8勝1分4敗		(14-14)			
<0/1>	K 志水		榊原	0/0	
	0/1 3/6 谷村		原	0/1	
	2/4 木村		大橋	0/1	
	4/6 坂本		桶谷	1/6	
0/1	7/8 山中		中島	4/9	
	1/4 福田		森光	4/6 1/1	
1/1	1/2 佐藤		藤田	K <2/2>	
0/1	4/6 名嘉		今村	4/11	
0/1	1/3 新		中村	5/6	
	3/4 今井		芳仲	0/0	
	0/0 古家		藤堂	K <2/3>	
	4/6 山口		米本	0/0	
			前田	1/1	
			中	0/4	

1/5 30/49 3(FPP)13 19/45 1/1
審判(奥山・海江田) 観客 738人

◆ 1月31日(日) 女子
鹿児島・霧島市国分体育館

オムロン	24	(15-6)	22	ソニーセミコンダクタ九州	8勝0分3敗
9勝0分2敗		(9-16)			
	K 勝田		中島	K <1/2>	
	3/5 城内		郭惠静	6/19	
	2/5 高田		長野	1/3	
	1/2 巻		高橋	3/8 1/2	
	0/0 市村		田中	1/3	
3/4	4/7 藤井		山間	0/0	
	1/1 石立		儀間	0/0	
	0/0 久野		高栖	7/9	
	3/8 洪廷昊		川崎	0/0	
<1/2>	K 藤間		黒木	2/8	
	0/0 勝連		飛田	K <0/2>	
	0/1 吉田薫		飯田	0/0	
	0/0 永田		東	1/1	
	7/13 東濱		伊地知	K	

3/4 21/42 4(FPP)7 21/51 1/2
審判(池淵・檜崎) 観客 1008人

選手・役員登録情報

◇HC名古屋

No.27 比嘉 桃子 1989.8.11 152cm 47kg
右 宮城小→神森中→神沢中→桜花学園高→中京大
No.28 山内 亜久里 1989.4.9 161cm 54kg
右 長良中→桜花学園高→中京大
No.29 戸塚 早美 1989.12.17 168cm 69kg
右 清水商高→中京大
※出場可能日: いずれも2010.02.06
※登録抹消 14山本沙織 15秋山絵奈 16更屋
不二子 17斉藤泉 18井戸田慶子 24西野有貴
25酒井美有

◇ソニーセミコンダクタ九州

No.18 張 素姫 1978.03.15 161cm 55kg 右
徽慶女子高→東成製薬→大邱市役所→東京女子体育大
※出場可能日: 2010.02.13

男女個人ランキング 第17週終了

《男子》

《女子》

得点王

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	102点	(13試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	97点	(11試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	83点	(12試合)	2	郭 惠静	(ソニー)	76点	(11試合)
3	今村 彰伸	(豊田合成)	76点	(13試合)	3	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	73点	(11試合)
4	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	75点	(13試合)	4	藤井 紫緒	(オムロン)	69点	(9試合)
5	東長濱秀作	(湧永製薬)	72点	(12試合)	5	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	66点	(11試合)
6	豊田 賢治	(大崎電気)	69点	(13試合)	6	横嶋かおる	(北國銀行)	65点	(11試合)
7	銘苅 淳	(トヨタ車体)	68点	(13試合)	7	高橋 恵	(ソニー)	61点	(11試合)
8	武田 享	(大同特殊鋼)	65点	(12試合)	8	高栖 由香	(ソニー)	55点	(11試合)
8	村山 裕次	(琉球コラソン)	65点	(13試合)	9	高田 裕梨	(オムロン)	46点	(11試合)
10	小澤 広太	(大崎電気)	63点	(13試合)	10	若松 里佳	(北國銀行)	45点	(11試合)
10	中島 嘉之	(トヨタ紡織九州)	63点	(14試合)	10	洪 廷昊	(オムロン)	45点	(11試合)
12	志慶真龍我	(琉球コラソン)	60点	(13試合)	12	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	44点	(11試合)
13	呉 相民	(トヨタ紡織九州)	59点	(14試合)	13	菅谷 美奈	(HC名古屋)	39点	(11試合)
13	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	59点	(14試合)	14	仲宗根 彩	(北國銀行)	37点	(11試合)
15	神田 友和	(北陸電力)	58点	(14試合)	15	橋本 寛子	(バイオレットアイリス)	36点	(11試合)

フィールド得点

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	92点	(13試合)	1	郭 惠静	(ソニー)	76点	(11試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	83点	(12試合)	2	上町 史織	(北國銀行)	70点	(11試合)
3	今村 彰伸	(豊田合成)	76点	(13試合)	3	横嶋かおる	(北國銀行)	65点	(11試合)
4	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	74点	(13試合)	4	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	57点	(11試合)
5	武田 享	(大同特殊鋼)	65点	(12試合)	5	高栖 由香	(ソニー)	55点	(11試合)
6	小澤 広太	(大崎電気)	63点	(13試合)	6	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	52点	(11試合)
6	中島 嘉之	(トヨタ紡織九州)	63点	(14試合)	7	高橋 恵	(ソニー)	48点	(11試合)
8	志慶真龍我	(琉球コラソン)	59点	(13試合)	8	高田 裕梨	(オムロン)	46点	(11試合)
8	呉 相民	(トヨタ紡織九州)	59点	(14試合)	8	藤井 紫緒	(オムロン)	46点	(9試合)
10	神田 友和	(北陸電力)	58点	(14試合)	10	若松 里佳	(北國銀行)	45点	(11試合)
					10	洪 廷昊	(オムロン)	45点	(11試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	92点/130射	0.708	1	高栖 由香	(ソニー)	55点/ 64射	0.859
2	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	74点/115射	0.643	2	横嶋かおる	(北國銀行)	65点/ 82射	0.793
3	小澤 広太	(大崎電気)	63点/ 98射	0.643	3	若松 里佳	(北國銀行)	45点/ 75射	0.600
4	志慶真龍我	(琉球コラソン)	59点/100射	0.590	4	上町 史織	(北國銀行)	70点/ 118射	0.593
5	門山 哲也	(トヨタ車体)	83点/141射	0.589	5	高田 裕梨	(オムロン)	46点/ 79射	0.582

7mスロー得点

1	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	27点	(14試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	27点	(11試合)
2	銘苅 淳	(トヨタ車体)	26点	(13試合)	2	藤井 紫緒	(オムロン)	23点	(9試合)
3	村山 裕次	(琉球コラソン)	21点	(13試合)	3	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	16点	(11試合)
4	東長濱秀作	(湧永製薬)	19点	(12試合)	4	菅谷 美奈	(HC名古屋)	14点	(11試合)
5	豊田 賢治	(大崎電気)	14点	(13試合)	4	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	14点	(11試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	坪根 敏宏	(トヨタ車体)	9本/ 17射	0.529	1	勝田 祥子	(オムロン)	6本/ 13射	0.462
2	田平龍太郎	(トヨタ車体)	6本/ 14射	0.429	2	家城 千香	(HC名古屋)	9本/ 22射	0.409
3	松野 雅崇	(トヨタ紡織九州)	10本/ 26射	0.385	3	堂面 妙子	(メイプルレッズ)	7本/ 19射	0.368
4	東 佑三	(大崎電気)	6本/ 16射	0.375	4	寺田三友紀	(北國銀行)	8本/ 29射	0.276
5	藤田 東吾	(豊田合成)	5本/ 16射	0.313	5	近藤 澄江	(HC名古屋)	5本/ 19射	0.263

チャレンジディビジョン〈西地区〉

1月31日・山口県岩国市総合体育館

HC山口 42 (21-15, 21-15) 30 高松大学

第 34 回 日本ハンドボールリーグ 成績表

第17週終了 1月31日

順位	男子	大同特殊鋼		トヨタ車体		トヨタ紡織九州		湧永製菓		大崎電気		豊田合成		琉球コラソン		北陸電力		試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2										
1	大同特殊鋼			30 27 ○ △	23 27 ○ △	35 28 ○ ●	27 31 ● ○	32 29 ○ ○	25 30 ● ○	24 ○	48 40 ○ ○	30 30 ○ ○	35 37 ○ ○	24 19 ○ ○	36 40 ○ ○	23 24 ○ ○	13	11	1	1	23	441	311	130	
2	トヨタ車体	23 27 ● △	30 27 ○ ○			27 31 ● ○	28 30 ○ ○	32 33 ○ ○	36 22 ● ○	25 30 ○ ○	30 ○	33 30 ○ ○	23 27 ○ ○	28 30 ○ ○	17 23 ○ ○	13	9	1	3	19	379	343	36		
3	トヨタ紡織九州	29 29 ● ○	28 30 ○ ●					23 31 △ ●	30 26 △ ●	40 37 ○ ○	40 37 ○ ○	36 29 ○ ○	30 32 ○ ○	30 32 ○ ○	23 23 ○ ○	14	8	2	4	18	430	382	48		
4	湧永製菓	26 25 ● ●	30 26 ● ●	23 34 △ ○	23 31 △ ○					28 27 ○ ○	39 31 ○ ○	37 ○	35 33 ○ ○	35 33 ○ ○	17 16 ○ ○	13	8	1	4	17	394	328	66		
5	大崎電気	19 ●	36 22 ○ ●	30 28 △ ○	21 25 ● ●							43 30 ○ ○	34 34 ○ ○	28 24 ○ ○	24 18 ○ ○	13	8	1	4	17	374	323	51		
6	豊田合成	24 19 ● ●	24 ●	21 27 ● ●	23 20 ● ●	18 19 ● ●							22 33 △ ○	22 24 △ ○	22 17 △ ○	13	2	2	9	6	296	428	-132		
7	琉球コラソン	24 19 ● ●	23 27 ● ●	28 24 ● ●	26 ●	27 27 ● ●	22 29 △ ●							33 27 ○ ○	29 18 ○ ○	13	2	1	10	5	336	407	-71		
8	北陸電力	23 24 ● ●	17 23 ● ●	23 23 ● ●	17 16 ● ●	24 18 ● ●	22 17 △ ●	29 18 ● ●									14	0	1	13	1	294	422	-128	

順位	女子	北國銀行		オムロン		ソニーセミコンダクタ九州		三重ハイオレットアイリス		広島メイプルレッズ		HC名古屋		試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2											
1	北國銀行			30 19 ○ ●	25 21 ○ ●	33 23 ○ ●	27 31 ○ ●	29 30 ○ ○	21 18 ○ ○	34 31 26 ○ ○ ○	28 22 23 ○ ○ ○	37 31 ○ ○	16 15 ○ ○	11	9	0	2	18	323	247	76	
2	オムロン	25 21 ● ○	30 19 ○ ○			27 36 24 ● ○ ○	28 21 22 ○ ○ ○	23 28 ○ ○	16 19 ○ ○	33 36 ○ ○	17 15 ○ ○	40 37 ○ ○	11 14 ○ ○	11	9	0	2	18	330	212	118	
3	ソニーセミコンダクタ九州	27 31 ● ○	28 21 22 ○ ● ●					32 35 ○ ○	20 28 ○ ○	45 39 ○ ○	26 24 ○ ○	42 42 ○ ○	15 20 ○ ○	11	8	0	3	16	364	276	88	
4	三重ハイオレットアイリス	21 18 ● ●	16 19 ● ●	20 28 ● ●	32 35 ● ●					27 21 ● ○	28 15 ○ ○	30 31 27 ○ ○ ○	15 16 13 ○ ○ ○	11	4	0	7	8	258	264	-6	
5	広島メイプルレッズ	28 22 23 ● ● ●	17 15 ● ●	26 24 ● ●	28 15 ○ ●							36 33 ○ ○	20 13 ○ ○	11	3	0	8	6	267	325	-58	
6	H C 名古屋	16 15 ● ●	11 14 ● ●	15 20 ● ●	15 16 13 ● ● ●	20 13 ● ●									11	0	0	11	0	168	386	-218

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。